

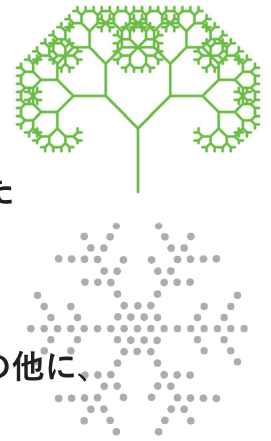
札幌 Sapporo International
国際芸術祭 Art Festival

アーティストが学校にやってくる!

プログラミングでアートにチャレンジ
SIAFスクール 出前授業のご案内

PROGRAMMING
ART
SIAF

札幌国際芸術祭実行委員会では、2023年の夏から秋にかけて、アーティストが開発したウェブアプリケーションでプログラミングを活用した出前授業を札幌市内の小中学校12校で実施し、プログラミングを身近に捉えて体験する機会を創出しました。今年度は、昨年から継続して「自分だけの雪の結晶」をつくるプログラムの他に、新たに「自分だけの木」を制作するプログラムを実施します。



札幌国際芸術祭とは

札幌国際芸術祭(Sapporo International Art Festival サイアフ 略称:SIAF)は3年に一度、札幌で世界の最新アート作品に出合える、特別なアートイベントです。これまで2014年に第1回、2017年に第2回を開催しました。3回目となる2020年の開催は残念ながら中止となりましたが、SIAF2020特別編として、オンラインプログラムや予定されていた企画の紹介展示を実施しました。2024年には初の冬開催となる SIAF2024(会期:2024年1月20日(土)~2月25日(日))を開催し、札幌市内6会場を中心に、多彩な展覧会やプロジェクトを展開しました。

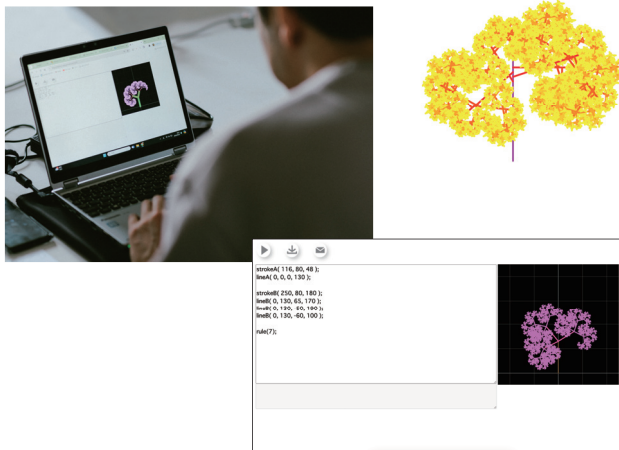
SIAFスクールとは

SIAFスクールという取り組みは、SIAF2024に向けて始まりました。SIAF2024を「未来の学校」となり得るくらい、大きな可能性を秘めたプラットフォームと捉えて、アーティストや研究者、教育関係者など色々な専門家を交えて様々なプログラムを実践してきました。そしてこのSIAFスクールは継続事業として、今年度も札幌市内の小中学校を対象に子ども向けワークショップを実施します。SIAFに関わるアーティストやSIAFスタッフが学校を訪問し、プログラミングを活用した新しい創作体験やデジタルによる芸術表現に触れる機会をつくります。

「自分だけの木」をプログラミングで制作しよう！

実施内容

アーティストのフジ森が制作した、テキストプログラミングのウェブアプリケーションで「自分だけの木の図形」を制作するワークショップです。論理的思考を養いながら、デジタル表現を自ら生み出す体験を提供します。



※本プログラムは開発中のため画像はイメージです。

対象学年

小学校6年生～中学校3年生

所要時間

60分～90分(授業2コマ分程度)

授業の位置づけ

図工、美術、理科、数学、総合的な学習の時間など

ねらい

「植物」や「木」をモチーフに、植物の形態について知識を深めます。札幌の自然環境など、暮らしの中にある身近な存在の知見を広げることで、新しい気づきや発見を得ることができます。加えて、汎用的なテキストプログラミング(JavaScript)を簡単に扱えるようカスタマイズしたプログラミング環境を使用することで、コンピュータと対話するようにデジタルの基本に触れ、論理的思考も養うことができます。

■ 授業のながれ



■ 応募要項

実施人数は30～70名程度が望ましいですが、お気軽にご相談ください。

応募期間:2024年5月13日(月)～6月28日(金)

実施期間:2024年9月2日(月)～11月29日(金)

参加に必要な環境:パソコン(一人一台)、インターネット環境

■ 講師

アートユニット・フジ森

■ 募集校数

5校(先着順)

フジ森 (アートユニット)

フジ森は、藤木淳と藤木寛子の夫婦によるインタラクティブ・アート・ユニット。

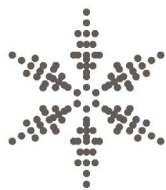
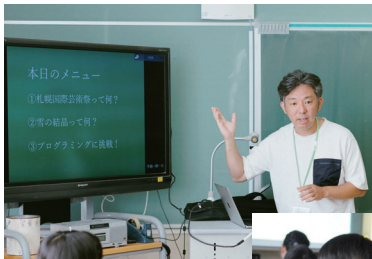
構想はそれぞれで持ち寄り、藤木淳がインタラクティブ設計、藤木寛子がビジュアル構成を担当し、鑑賞者参加型のアート作品を展開している。藤木淳は独自のアルゴリズムに基づくインタラクティブ作品を制作。藤木寛子(清水)は実物のシルエットとモノクロのアニメーションを融合させたインスタレーション作品等を制作。2014年より合作を始め、2019年よりユニット名をフジ森とした。



「自分だけの雪の結晶」をプログラミングで制作しよう!

実施内容

2023年の夏から秋にかけて実施した出前授業「自分だけの雪の結晶をつくろう」が帰ってきます。アーティストのフジ森が開発した、小中学校でも簡単に扱えるテキストプログラミングのウェブアプリケーションで「自分だけの雪の結晶」を制作するワークショップです。世界に一つしかない雪の結晶が制作でき、論理的思考を養いながら、雪国ならではのデジタル表現を自ら生み出す体験を提供します。



対象学年

小学校3年生～5年生

所要時間

60分～90分(授業2コマ分程度)

授業の位置づけ

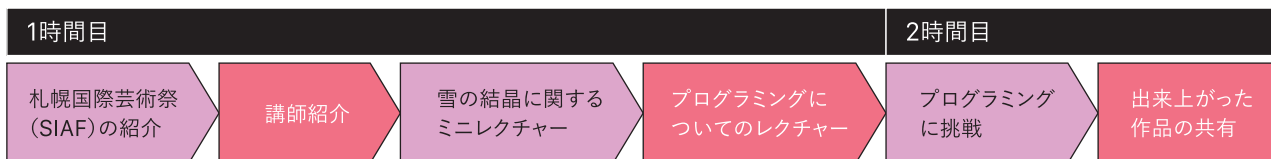
図工、理科、算数、総合的な学習の時間など

ねらい

本ワークショップを通して子どもたちは、札幌の暮らしの中にある「雪」を豊かに捉え、新しい気づきや発見を得ることができます。具体的には、雪の構造について知り、考えることで、未来に繋がる創造性や多様性を学べます。

加えて、汎用的なテキストプログラミング(JavaScript)を小学生でも簡単に扱えるようカスタマイズしたプログラミング環境を使用することで、コンピュータと対話するようにデジタルの基本に触れ、論理的思考も養うことができます。

■ 授業のながれ



■ 応募要項

実施人数は30～70名程度が望ましいですが、お気軽にご相談ください。

応募期間:2024年5月13日(月)～6月28日(金)

実施期間:2024年9月2日(月)～11月29日(金)

参加に必要な環境:パソコン(一人一台)、インターネット環境

■ 講師

札幌国際芸術祭実行委員会
事務局スタッフ

※アーティストの同行はございません。

■ 募集校数

5校(先着順)

各プログラムの応募から実施までの流れ

- 1 応募用紙を札幌国際芸術祭実行委員会事務局にメールで送付してください。
(宛先: operation@siaf.jp) ※6月28日(金) 締切(先着順)
- 2 事務局から学校にご連絡し、打ち合わせの日程を決めます。
- 3 実施内容や実施日などの詳細を打ち合わせます。
- 4 事務局が講師と日程を調整し、実施日を確定させて学校にご連絡します。
- 5 ワークショップ実施

教育喫茶

SIAFスクールアドバイザーの佐藤正範(北海道教育大学未来の学び協創センター特任講師)監修の下、プログラム開発や運営に関わるメンバー、教育に関わる先生や学生、アーティストなどが集い、教育とアートに関する課題や可能性を話し合うコミュニティの場です。

実験的なプログラムを作ったり、体験したりする中で、学校と芸術祭が「これからの教育」を共に考え創造するプラットフォームとして機能していくことを目指しています。「教育喫茶」では随時参加者を募集しています。ご興味のある方は下記お問い合わせ先までご連絡ください。



主催:札幌国際芸術祭実行委員会 / 札幌市

協力:北海道大学 名誉教授 古川 義純 /  札幌市博物館活動センター

助成:令和6年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



お問い合わせ:札幌国際芸術祭実行委員会事務局
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル10階
TEL:011-211-2314 E-mail:operation@siaf.jp